

がいこくじん かい いん ぼしゅう
外国人ボランティアサポーター会員募集
がいこくせき かた
(外国籍の方へ)

ぼこくご い ちいきしゃかい こうけん
～母国語を生かして地域社会に貢献してみませんか～

2020年5月1日、町田市には7,000人を超える外国人の方が住んでいます。

この中には、言葉の壁で日常生活（学校、保育園、幼稚園、医療機関や官公庁での手続きなど）に不安をもって生活している方も沢山います。

町田国際交流センターでは、このような外国人の方を支えるために日本語教室や外国人相談などいろいろな活動をしています。特に最近では、来日したばかりで生活支援を必要とする方々への通訳や翻訳などの支援が増えています。

そこで、日本の社会にも馴染んで、生活が安定している外国籍の皆さまで、このような支援に協力できる「外国人ボランティアサポーター会員」を募集します。

是非、在日外国人の一員として「外国人ボランティアサポーター会員」に登録し、私たちと一緒に多文化共生社会をつくるために、地域国際交流と理解の輪を広げていきましょう。

詳しいことは町田国際交流センターまで、問い合わせてください。

TEL 042-722-4260

E-mail info@machida-kokusai.jp



ぼろんていえ

Volontiers! の由来：誘われたとき、頼まれたとき「喜んで！」と笑顔で応えるフランス語

町田国際交流センターではボランティアを中心に、日本にいる外国の方を支援したり、コミュニケーションの活性化をはかるなど、様々な活動を行っています。

国際交流事業やボランティアのお問い合わせは、町田国際交流センターまで



KOKUSAI インタビュー

日本語教室部会 勝又 秀明 さん

Q 所属部会 活動年数

日本語教室部会に所属しています。2009年3月から活動していますので、11年と5か月になります。

Q ボランティアを始めたきっかけは？

定年退職の後日本語教師を目指したのですが、第2次就職をしました。

そのあとシルバーでの仕事を2年ほどした後でしょうか、「広報まちだ」でボランティア養成講座の案内を見て申し込みました。受講しているうちに次第に魅力が増して、2月に講座が終了してすぐに活動を始めました。

Q ボランティア活動でうれしかったこと、楽しかったことは？

初めのころ担当した初級の学習者、今は担当がかわったのですが、先日「N2受かった」と報告されたのはうれしかったです。また、ゼロビギナーのメキシコ人、たまたま隣に住んでいるのですが、今は教室を卒業(?)してトラック・レストランの店主、去年女の子が生まれて、隣のおじいちゃんをさせていただいています。今はちょっと変な日本語ペラペラで、この二人のように初めからの成長の姿を近くで見られるのはボランティアの醍醐味ではないでしょうか。

Q 海外生活のご経験は？その時困ったことは？ハプニングは？

あいにく、海外生活の経験はありません。そのせいか、今の活動でいろいろな国の生活・風土や考え方などに触れることが出来、駅前海外生活のように楽しんでいます。

Q ボランティア以外で熱中していることは？

会社にアーチェリー部があったので、在職中からその後OBとして実業団の試合に出るなど、また総合体育館の指導員をしたりと結構熱中しています。またアマチュア無線も長く、しばらく休んでいましたが、コロナで外出が出来なかったりの昨今、浦島太郎状態ですが復帰しました。



国際交流部会 大島 綾乃 さん

Q 所属部会 活動年数

国際交流部会 活動年数 4年

Q ボランティアを始めたきっかけは？

仕事を辞め、以前から興味があったボランティア活動、特に外国人と交流ができる活動に参加したいと思いました。

Q ボランティア活動でうれしかったこと、楽しかったことは？

国際交流部会のイベント、ホームビジットで我が家を訪れた桜美林大学の中国人留学生の一人が、後日餃子の作り方を教えに再訪してくれたことです。

また、バス旅行等で参加者の皆さんの楽しそうな笑顔を見ると、こちらまで楽しくなります。

Q 海外生活のご経験は？その時困ったことやハプニングは？

2017～2019年、3年続けて3ヶ月から半年イタリア トスカーナ州へ語学留学しました。(この間、不在のため部会員の皆さんには大変ご迷惑おかけしています)

イタリア語上達が第一の目標ですが、長期に生活することにより文化や生活を直に知りたと思ったからです。また、一緒に勉強する他の国の人たちと小さな国際交流ができればと思いました。

一番困ったことは、ブレーカーが時々落ちることです。電力を外国に頼っているため慢性的に電力不足です。自分のアパートの停電だけでなく、同じ地区あるいは町全体が停電することもありました。そのため、暖房も集合住宅では一括管理です。寒いからと勝手にスイッチオンはできません。私の住む町は11月初旬にやっと暖房が入りました。バスタブは普通ないので、シャワーを浴びるときは寒くて大変でした。

二番目に困ったのは、バスや電車が前触れなくキャンセルされることがあり、特に乗り継ぎがあるときは要注意。但し、日本人が一般的に思う以上に時刻表通り運行されています。

Q ボランティア以外で熱中していることは？

熱中と言うほどではありませんが、イタリア語と体力維持のためのスロージョギングです。



大島 綾乃さん(左から二人目)

外国人相談部会 小川 房子 さん**Q ボランティアを始めたきっかけは？**

日本でサッカーのワールドカップが開催された際ボランティアを行い、そこで町田国際交流センターのチラシを目にしました。海外生活でいろいろお世話になったお返しをしたい、とちょうど思っていましたのでセンターに入会しました。

Q ボランティア活動でうれしかったこと、楽しかったことは？

相談部会の主な活動は相談、同行通訳、翻訳です。相談では外国の方が困っておられる問題を扱うため、どうしても厳しく辛い相談が多くなります。嬉しい思い出は何といっても妊婦さんの同行通訳です。妊婦健診から産後健診までずっと付き添い我が娘、孫のような気持ちになります。赤ちゃんの日本語の名付け親になったり、妊娠中問題がありやっとの思いで出産された時、一緒になって喜んだ事もあります。(但し、通訳の際は個人的な感情は抑えることが必要。) 通常の相談でも何年にも渡って相談にみえる方もあります。もう一つは一緒に活動をしているボランティア仲間存在です。外国の方の自立支援という共通の目標に向かって互いに助け合って頑張っています。センターでのこれらの「出会い」は私にとってかけがえのないものとなっています。

Q 海外生活のご経験は？その時困ったことやハプニングは？

父の転勤、学生時代の留(遊?)学、主人の転勤で、計3回です。

いろいろありましたが、出産時使いそうな英語の単語をメモした紙を握りしめて分娩室に行った事、出産後届けられたお花で病室が一杯になり、王女様の気分になった事、など。

Q ボランティア以外で熱中していることは？

庭仕事です。今はゴーヤとじゃがいもを育てています。食べられるものを育てる事や、草むしりも結構楽しいです。

**「まちだへようこそ！外国語でOmotenashi PJT」まちだ〇ごと大作戦** 武田 雅治 さん**Q 所属部会 活動年数**

外国語部会(英語中級)に2016年4月から2年間通い、2018年の夏からは町田〇ごと大作戦の企画として立ち上げた「まちだへようこそ！外国語でOmotenashiプロジェクト」に参加して約2年間活動していますが、残念ながら、2020年3月から活動を休止しています。

Q ボランティアを始めたきっかけは？

2015年の退職を機に、社会に関わることで何かお役に立てることないかと考えていた時、町田市の広報誌で国際交流センターの活動を知り、外国語部会に参加したのが始まりです。また、「外国語でOmotenashiプロジェクト」は、国際交流センターで活動されている会員の方に誘われたのがきっかけです。

Q ボランティア活動でうれしかったこと、楽しかったことは？

何と言っても、様々な経験をお持ちの多くの方と知り合えたことが最大の財産です。「外国語でOmotenashiプロジェクト」では様々なイベントのお手伝いをしていますが、外国人の方との交流は緊張感もありますが、たいへん楽しいものです。特に、昨年はラグビーW杯の開催で盛り上がり、町田市がホストシティとして招いたナミビア代表チームとの交流会での活動は、忘れられない経験となりました。

Q 海外生活のご経験は？その時困ったことやハプニングは？

アメリカ西海岸、ロサンゼルス近郊のアーバイン市で、駐在員として4年間生活しました。渡米する前、英語はビジネスでそれなりに使っていたので、あまり心配していませんでしたが、誤算でした。半年間は、英語に慣れるのに必死でした。

Q ボランティア以外で熱中していることは？

学生時代に始めたスキーを40年以上続けています。また、退職後、健康維持のために週1~2回のペースでプール通いを続けています。

**編集後記**

できるだけ外出を控えてください。人との距離を維持してください。など新型コロナウイルスによる個人の環境はまだ解放されていません。日本に在留している諸外国からの方々も、お国の様子が気になることと思います。

私たちボランティアも、日々の活動の場がお休みとなり、自宅ですすべもなく過ごしていました。

今回発行の「ぼろんていえ」は、町田国際交流センターで、普段ご活躍されている方々を在宅のまま、インタビュー形式で取材、回答をいただきました。新型コロナウイルスの一日も早い収束を念じ、これからの当センターの本格的な活動再開と、ルーチンワークの諸企画が無事行われることを願っています。

生涯学習センター

障がい者青年学級ボランティアスタッフ募集

生涯学習センターは、障がいのある方を対象に、「障がい者青年学級」を開設しています。この事業は、学級生（障がい者）が、音楽・スポーツ・演劇・図画工作といった創作活動を通じて、「生きる力・働く力」の獲得をめざすことを目的とした、集団での学習活動です。

生涯学習センターでは随時、学級生の学習活動を支援していただけるボランティアスタッフを募集しています。学級生たちと一緒に創作活動をしたり、食事や外出の際のサポートをしていただきます。

詳しくは「障がい者青年学級」スタッフ募集ページをご覧ください。

対象 どなたでも

日時 公民館学級 第1第3日曜日 9:30～17:00

(原則)

ひかり学級 第1第3日曜日 9:30～17:00

土曜学級 第2第4土曜日 9:30～17:00

会場 生涯学習センター（町田市原町田6-8-1 町田センタービル内）

ひかり療育園（町田市忠生3-8-1）

その他 有償ボランティアとなり謝礼があります。（要件あり）



申込・問い合わせ

町田市生涯学習センター

〒194-0013 町田市原町田 6-8-1 TEL 042-728-0071 FAX 042-728-0073

休館日 毎月第4月曜日（祝日の場合は翌日）および年末年始（12月29日～1月3日）

見学やご相談は、生涯学習センター青年学級担当（TEL 042-728-0071）までご連絡ください。

頑張れ ボランティア会員・町田国際交流センター

今年1月には、新型コロナウイルスが世界中に蔓延することを誰が想像したでしょうか。

この4月には、政府の緊急事態宣言が発令され5月末には解除されました。

解除に伴い、「ぼろんていえ」7月号が会員の皆様方に届く頃には、徐々に日常生活に戻りつつあると思います。

しかし、新聞報道等によりますと、新型コロナウイルス発生以前の生活を取り戻すことは出来ません。

また、今後第2波、第3波の感染拡大が予測され、それに備えなければなりません。

そこで、ボランティア活動も今までとは違い、新しい生活様式を踏まえ、知恵を出し合い、支援・交流の在り方をボランティア会員の皆様と一緒に考えていかななくてはと思っています。

ボランティア活動が再開されましたら、今まで以上に力を合わせ、支援・交流活動を行い、多文化共生社会の実現に向け頑張ってください。

最後に、これからも新型コロナウイルスとの長い闘いが続くと思いますが、社会を支え、最前線で頑張っている皆様方に心から感謝し、応援申し上げます。 事務局 足立 能仁